



認定特定非営利活動法人  
**青少年の自立を支える会 通信**

**秋**

平成21年  
 2009年10月

会報 第48号



県北研修会の一コマ

目次

- 巻頭 扉は開いた
- 春夏秋冬「星の家」 NO.12
- 事務局報告
- 研修会報告ほか



巻頭は、本会副理事長の吉光寺ヒロ子さんに寄稿していただきました。  
 県南地区研修会を11月21日土曜日に開催します。詳しくはチラシかお知らせ欄をご覧ください。

**扉は開いた**

副理事長 吉光寺 ヒロ子

自立援助ホームが日本に初めて開設されたのは、1958年、東京である。そして1997年、全国13番目に、「星の家」はスタートした。因みに本年7月の時点では、全国に55の自立援助ホームがある。重要な役割と厳しい財政状況下のホーム運営は、頭痛のタネを切らしてはくれず、苦闘しつつ開設以来の12年間を、弛まず歩み続けて来た。それは、支援を必要とする多数の青少年の存在から、目を逸らせない故であり、一方徐々に広がってきた地域の人々やマスコミの支援が、励みとなっていたからである。

それにつけても、常に重く申し掛かっていたのは、手狭になった「星の家」の移転問題だった。開設後、将来の移転に備えて、少しずつ貯えて来た建築資金を、数年前に財政上の理由から、取り崩す事態に至った時、移転は遥かに遠退いた思いと、立地条件や資金などから見て、<sup>かまきり</sup>蟻螂の斧の非力さを、秘かに感じたりもした。

ところが、昨年夏頃スタッフが、土地付中古住宅物件の情報に接して、事態は急変した。物件は十分満足とはいえないが、立地、規模、価格等、手の届く範囲のものであった。12月の理事会、本年1月の総会で購入が可決され、必要な処理、手続きをして、本年4月念願の移転が叶った。

求めよ、さらば与えられん！新しい「星の家」の扉は開いたのである。資金面では、大きな負債を抱

えることになったが、折しも児童福祉法の改正により、財政上の問題は、改善の兆しもあり火の車の炎も小さくできるかも知れない。

さて、これからが、新しい活動の開始である。長年の課題であった、入居者以外の支援を必要とする青少年の「居場所づくり」が、その一つである。新しい「星の家」には、そのスペースを確保できた。ここを拠点にした青少年の活動を見守り、彼らに希望を語らせた。

古い「星の家」とのお別れ会の中で、ある入居者が「この家の僕の居場所は狭かったけれど僕はそこが好きで、部屋にしていると心が休まりました」と言った。また新しい家の個室に入った入居者は、「自分専用のドアがあることが嬉しい」と、言ったそうである。現在の環境をしっかりと受け止めて、生活している健気な心情が嬉しい。

「星の家」は自前のドアを持ったのである。このドアを大きく開けて、活動の輪を広げ、栃木県の青少年福祉の拠点となることを目指して、進みたいと思う。さらなるご支援を、心からお願い申し上げます。



今年はそれほど暑くなく過ごしやすい夏でした。と言っても夏はやっぱり暑い！新しい星の家での初めての夏でしたが、風の通りが良い家なので家中のドア・窓を開け放して暑さをしのぎました。

4・5・6月は、清住の家での生活と南大通りの家の片付けであっという間に過ぎてしまいました。3軒のうち2軒は取り壊して駐車場になりましたが、残りの1軒を大家さんの山田さんのご好意で、引き続き貸していただけることになりました。バザー物品や、アパートに出る子の為にいただいた日用雑貨・家電などを保管する予定です。

7・8・9月は、引っ越しが終わったと思ったら今度はいよいよバザーの準備です。今年は会員の方に加え、とちぎコープ生活協同組合のチラシを見た、と言って物品を寄付して下さる方が多く、星の家にはぞくぞくと物品が届いています。サロンを予定している部屋は物品で溢れかえり、なかなか片付かない！とうれしい悲鳴です。

またこの6ヶ月は星の家自体も何かとバタバタしていました。入居者の出入りがあり一時保護があり、OBが困って相談に来たり、引っ越し前よりも人の出入りが頻繁になっているように感じました。入所定員数を増やしたこともあり常に6人前後の入居者がいて、部屋をフルに使えて良いという面もあります。が、人数が増えて入居者同士の関係が複雑になっている面もあるように感じます。

では現在の5名の入居者を紹介します。

**男2名：**9月に一人退居したため現在は2名です。

**M(16歳)** 入居して10ヶ月がたちました。左官の仕事なので休みが日曜日しかありませんが、1度も辞めずに続けています。以前は朝も自分で起きられたのですが、このところ遊びに意識が向いてしまい、仕事へのエネルギーを使い果たしてしまう事が多くなってきました。仕事と遊びを両立させながらアパートに出られるよう、がんばってもらいたいです。(と書いた次の日に彼は仕事をクビになってしまいました。)

**J(16歳)** 4月に入居して思うように仕事が決まらず焦っていたJですが、5月に入り無事就職しました。でもその通勤時間なんと自転車です50分！遠い現場に行く日は4時半起きなんてこともあり、夏でもさすがに外はまだ真っ暗です。続かないかな～？というこちらの予想に反して毎日元気に仕事に通っています。自分で稼いだお金を計画的に使う練習

習中ですが、給料日前には使い果たしてしまいます。お弁当を買えないのでおにぎりを持って行くのですが、爆弾のように丸くて大きなおにぎりを握っている姿を見ると微笑ましく感じることもあります。



**女3名：**女の子は特に出入りが多く、4月からの間で3名が退居しました。現在入居しているのはこちらの3名です。

**A(17歳)** 今年の2月に入居し一度退所しましたが戻ってきました。それから仕事を探し、今は和食レストランの総菜屋さんで働いています。もうすぐで2ヶ月になりますが、休みが少ないのに毎日頑張っています。

**M(15歳)** 4月に入居しましたが他の入居者と無断外泊をし、一時保護所を経て、再び星の家で生活することになりました。9月に入りようやく見つけた仕事を楽しんでいると言って仕事に行くMでしたが、1ヶ月働いたところでクビになってしまいました。まずは星の家での生活を安定させる方が先で、まだまだ時間がかかりそうです。

**M(15歳)** 7月に一週間の委託一時保護で受けましたが、今回晴れて(?)入居になりました。仕事を探すことよりも入居者との関係が生活の中心になって毎日が過ぎていきます。こちら働き出すまで、まだまだ時間がかかりそう…。

新しい家は通りに面していて、バスや人がよく通ります。中学生や高校生がたくさん通るので道が賑やかです。そんな学生を見ていると、その同じ時間に同い年の入居者の子たちが働いていることを感じます。また古くからある町なので高齢者の方もよく通ります。そんな風にみな同じ地域に暮らしているんだと思うと、「星の家」が清住という地域に受け入れられていけるよう、私達もすべきことがあるように思います。

さて、「星の家まつり」まであと2週間。インフルエンザの心配もありますが、とにかく準備をやるしかない！ということで、値付け・まつりボランティアを目下受け付け中です(ノノ)

## 県 区研修会報告

9月12日土曜日の午後、国際医療福祉大学E301教室において、NPO 法人障害児・者トータルサポートセンター空及び社団法人栃木県社会福祉士会県北ブロックと共催で、大勢の県北の方々に参加していただけるようにと大田原市で研修会を開催いたしました。今回は50名強の方が参加、「さまざまな福祉分野から見た自立支援の取



講演の一こま



講演の一こま

組み」をメインテーマに、サブテーマの「現場から見えるもの」について絞り込んで研修会が進められました。

第一部は、自立援助ホーム「星の家」ホーム長の星俊彦が講師となり『自立援助ホーム「星の家」の取り組み』をテーマに、13時30分から約50分間に渡り「星の家」の実状を話されました。

休憩をはさんだ第二部のシンポジウムは、大竹ゆきえ氏（NPO 法人障害児・者トータルサポートセンター空代表）

福原健治氏（社団法人栃木県社会福祉士会県北ブロック運営委員で社会福祉法人至誠会・特別養護老人ホーム晴風園介護支援専門委員）

本会理事長の福田雅章氏（児童養護施設養徳園施設長）と、福祉の代表的な分野の方々をシンポジストに迎え、本会理事の浅香勉氏（国際医療福祉大学准教授）をコーディネーターに、多様な福祉分野の課題などについて有意義な討論が行われました。



シンポジウムの一こま

次回は、県南地区を計画しておりますので、県南の方には是非ご参加ください。

## 星の家まつり開催のお知らせ！

バザー：オークションもあります！  
模擬店：焼きそば、カレー、ピザ、エスニック料理など



開催日 平成21年10月25日(日)

開催時間 10時30分～15時

場所 宇都宮市明保野体育館



**\* バザー物品を募集中！！**

（詳細は、チラシをご覧ください）  
まつりボランティアも募集中です！



寄

付・会費納入者

敬称略・順位不同  
但し、4月から8月まで

(個人情報保護の観点から、ウェブ版では個人名は割愛させていただきます)

## 県南地区研修会のお知らせ!

次のおとりに県南地区で研修会を開催しますのでお知らせします。

日時：平成21年11月21日 土曜日 13時~

場所：栃木市国府地区公民館 \*栃木市惣社町228-1

テーマ：「それぞれの地域からの自立支援の取り組み」

第一部 講演 講師：星俊彦「星の家」ホーム長

第二部 シンポジウム

永島徹：NPO法人風の詩 副理事長

金澤伸子：県南地区里親会 専門里親

星俊彦：「星の家」ホーム長

福田雅章：本会理事長(コーディネータ)

参加料：無料 申込み先：「星の家」まで

### 【会費納入及びご寄付の郵便振替先について】

加入者名：青少年の自立を支える会 口座番号：00140-3-366972

\*通信欄に会員種別・寄付金及びその金額をご記入ください。また、ご入会の方は“入会”をご記入ください。

会員種別と金額は、正会員：5,000円、賛助A：5,000円/一口、賛助B：1,000円/一口、賛助団体20,000円/一口です。

\*\*\*「会費等の金融機関引落とし」のご利用をお勧めしております!\*\*\*

発行者/ 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

発行日/ 2009年10月13日

発行責任者/ 福田雅章

編集責任者/ 曾根俊彦

所在地/ 320-0037 栃木県宇都宮市清住1-3-48

電話/ 028-666-6023 FAX/ 028-666-6024

Eメール/ sasaeru@snow.ucatv.ne.jp

HP/ <http://www2.ucatv.ne.jp/~sasaeru.snow/>